

# 令和 6 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	下水道事業マネジメント課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	下水道事業会計収益的支出	1 款 1 項	8 目	政策番号	18	施策番号	2
事業名称	下水道研究事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	企業債	下水道使用料等
令和6年度	45,857					45,857
補助事業						0
単独事業						0
令和5年度	59,058					59,058
増△減	△ 13,201	0	0	0	0	△ 13,201

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	36,786	54,848	46,142	46,142	46,142
	企業債+下水道使用料等	36,786	54,848	46,142	46,142	46,142
決算	事業費	36,013	16,986			
	企業債+下水道使用料等	36,013	16,986			

事業概要 (アクティビティ)	脱炭素社会の実現や持続可能な事業運営に向けて、最先端の技術や知見に関わる調査及び研究により温室効果ガス削減及び循環型社会への貢献に資する技術開発に取り組みます。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
調査研究の実施	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	温室効果ガスを削減するために、主に水処理設備における省エネルギー機器に関する調査・研究を実施します。また、循環型社会への貢献に向けて、下水道資源を有効活用した新たなエネルギーの創出や農業利用に関する調査・研究にも取り組んでいきます。							
背景・課題	Zero Carbon Yokohama(温室効果ガス排出量実質ゼロ)実現に向けて、下水道事業における温室効果ガス排出量の削減目標を段階的に設定し取組んでいかなければなりません。また、循環型社会への貢献として、下水処理過程における、あらゆる発生物を有用な資源と捉えて再利用することがこれまで以上に求められており、下水道資源を有効活用した新たなエネルギーの創出や農業利用など様々な連携による資源活用を通じて貢献範囲の拡大が期待されています。							
根拠法令・方針決裁等	横浜市下水道事業中期経営計画2022							
根拠・データ等	横浜市下水道事業中期経営計画2022							
事業スケジュール	①課題解決後、完了予定 ②令和4年度以降：栽培実証の継続実施							
事業開始年度	①昭和46年度 ②令和4年度(実証実験開始)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	①	下水道事業の課題解決に資する研究	43,871	55,058	▲ 11,187
②	下水道資源を活用した栽培実証	1,986	4,000	▲ 2,014	栽培スケジュール等の見直しのため減
③				0	
④				0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
⑧				0	
⑨				0	
⑩				0	
	細事業合計	45,857	59,058	▲ 13,201	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	技術開発
	西高 幸作	後藤 賢亮	係 武石 由佑紀